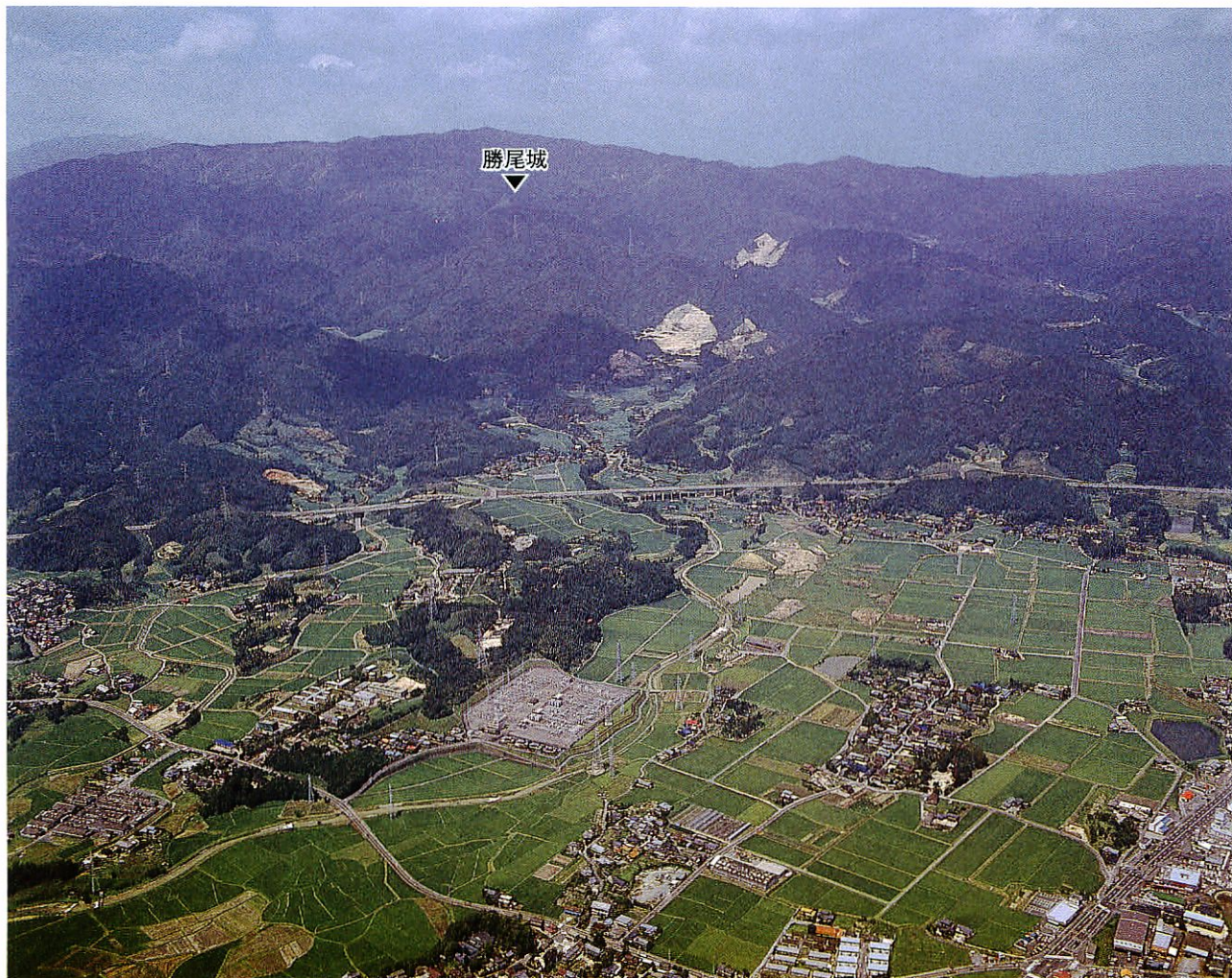


かつのおじょうかまち  
**勝尾城下町遺跡 1**

鳥栖市教育委員会

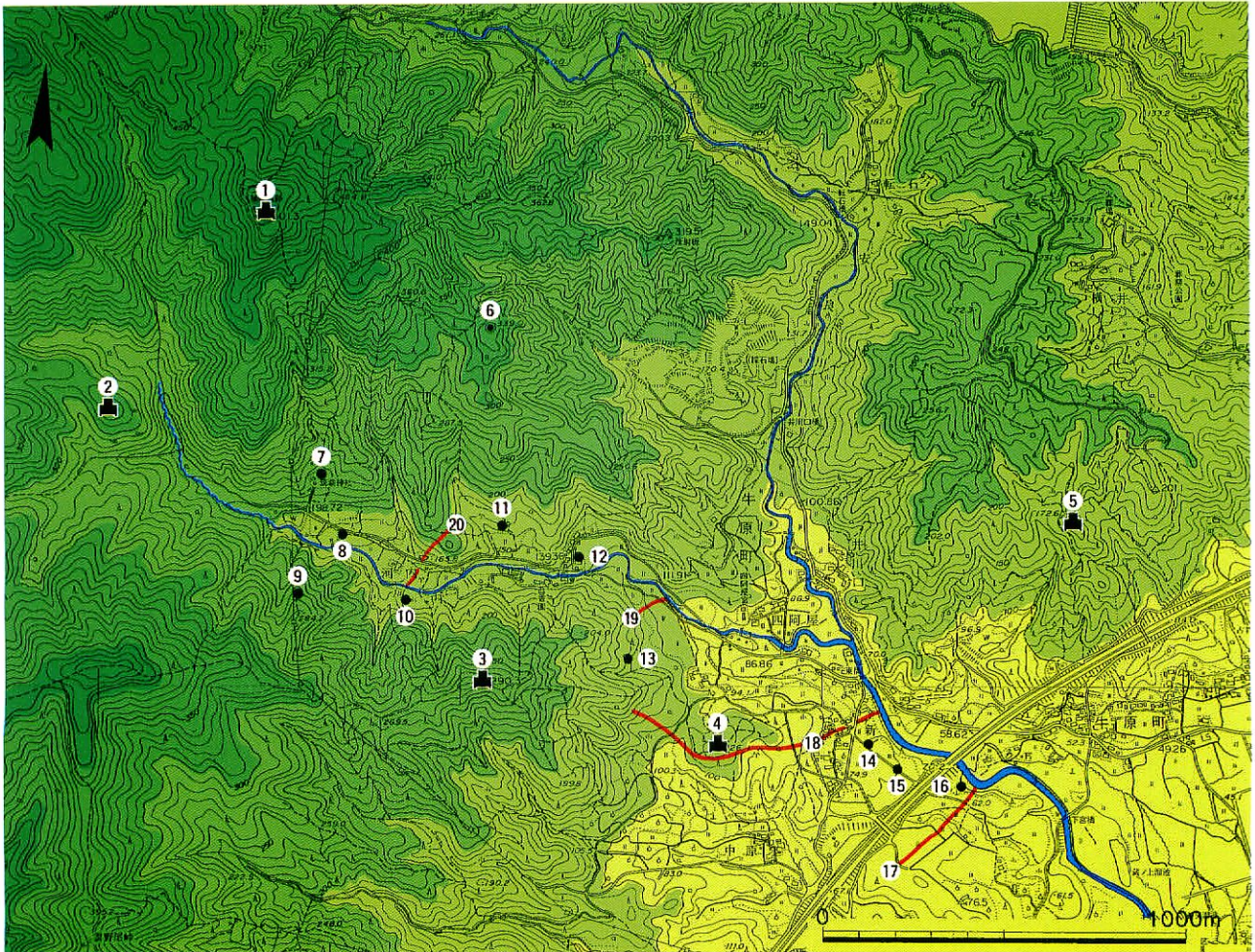


上空から見た勝尾城下町遺跡（南から）

鳥栖市北西部の牛原町・山浦町・河内町にまたがる城山麓（じょうやまさんろく）に、戦国時代後期（今からおよそ400～500年前）に鳥栖地方を本拠として、東肥前（ひがしひぜん）（佐賀県東部）や筑前・筑後（ちくぜん ちくご）（福岡県）にかけて勢力を振るった筑紫氏（ちくしし）の拠点、勝尾城下町遺跡があります。

勝尾城（標高501.3m）を中心に、麓（やまた）の館跡をはじめ谷をぐるりと取り囲むように鬼ヶ城（おにが）、高取城（たかとり）、葛籠城（つづら）、鏡城（かがみ）の4つの支城（しじょう）と若山砦（わかやまこしで）、さらに館跡からはじまる谷間には武家屋敷跡、寺社跡、町屋跡（ちむい）や土塁（からぼり）、空堀（からぼり）などの戦国時代の城下町跡が大変良好な状態で残っています。その規模は東西約2.5km、南北約2kmに及び、織田信長により焼き討ちされた越前（えちぜん）（福井県）の戦国大名・朝倉氏（あさくらじ）の一乗谷（いちじょうだに）「朝倉氏遺跡」（国特別史跡）に匹敵する大きさと考えられています。

鳥栖市教育委員会では、平成元年度に山浦新町地区（やまうらしんまち）のは場整備事業に伴い、この地区ではじめて発掘調査



勝尾城下町遺跡位置図

番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名
①	かつのお 勝尾城	⑥	わかやまとりで 若山砦(推定)	⑪	ぜんげいじ 全慶寺跡	⑬	かわかみ さきょう墓 川上左京墓
②	おにが 鬼ヶ城	⑦	ちくしやかな 筑紫氏館跡(筑紫神社)	⑫	(伝) 大手口	⑭	そうがまま 総構の空堀
③	たかとり 高取城	⑧	(伝) 諸氏屋敷跡	⑬	ぶけ やしき 武家屋敷跡	⑮	からぼり 空堀
④	つづみ 葛籠城	⑨	(伝) 鐘突跡	⑭	しんまちまちや 新町町屋跡	⑯	空堀
⑤	かがみ 鏡城	⑩	(伝) 春門屋敷跡	⑮	(伝) 勝尾城登城道	⑰	空堀

を実施しました。この調査の結果、戦国時代の町屋跡や登城道・城下町を区画する空堀などが発見されました。この発見を機に、鳥栖市教育委員会では、平成4年から「勝尾城下町遺跡調査・整備委員会」を設置し、遺跡の調査と保存、整備と活用等について検討を進めています。

また、平成7年度から9年度の3ヶ年で遺跡の規模と内容を明らかにするための確認調査を行ないました。その結果、筑紫氏の館跡をはじめ、武家屋敷跡、寺社跡、堀、土塁、石垣などの遺構が良好な状態で残っていることが確認されました。またこれらの遺構に伴い、戦国期の陶磁器や土器類、瓦等の遺物が数多く発見されました。

戦国時代の城下町のほとんどが現在、市街地になっていたり、その後の開発等により失われていく中で、当時の姿をとどめているここ勝尾城下町遺跡は、全国的にみても戦国時代の城下町の姿を知る上で大変重要な遺跡と考えられています。

今後さらに調査および整備が進むことにより、遺跡の全貌が明らかになるものと思われます。